

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

## 第171号

(2007年 1月)

平成19年6月2日発行

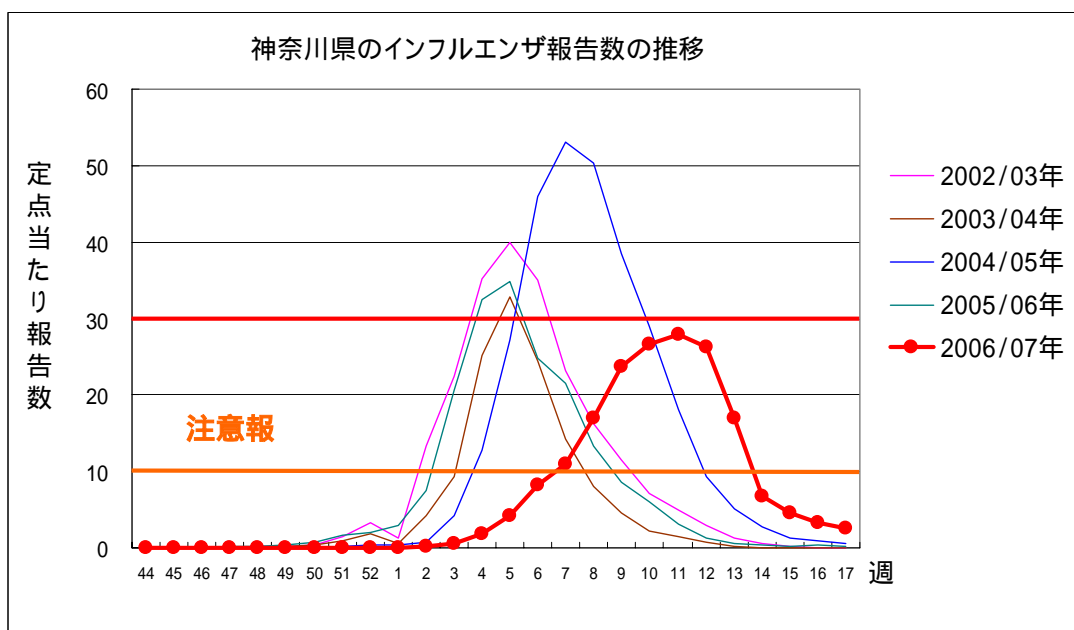
### 話題

## 2006/2007 シーズンのインフルエンザの流行について

### 神奈川県の情報

神奈川県では、インフルエンザの定点当たり報告数が第4週に1.81と流行の目安となる1を超え、過去5シーズンと比べて一番遅い流行開始となりました。その後、第7週で定点当たり10.95と注意報レベル(定点当たり10)を超え、第8週に相模原市で警報レベル(定点当たり30)を超えたのをはじめとして増加を続け、第11週(3月12日～3月18日)で定点当たり27.97とピークをむかえました。ピーク時の患者報告数は8,924人でした。神奈川県全体としては警報レベルは超えなかったものの、第11週では秦野(47.40)、厚木(42.24)、茅ヶ崎(32.55)と3つの保健所管内で警報レベルを超えました。ピーク後は春休みになったことも原因してか、急激に減少してきました。神奈川県健康増進課の3月19日現在の神奈川県・集団かぜ発生状況(記者発表資料)によると、欠席者の累計は12,159名、学級閉鎖数は970件でした。

17週(4月23日～4月29日)までの報告数の推移をグラフに示しました。



## 神奈川県内のインフルエンザウイルス分離状況

神奈川県衛生研究所における4月24日現在今シーズンのウイルス分離・検出数は表のとおりでした。インフルエンザウイルスAH1型が1件、インフルエンザウイルスAH3型が66件、インフルエンザウイルスB型が49件で、その割合はA型：B型が1.4：1と国立感染症研究所に登録された全国の分離数の比に近い値でした。5月8日に公開となった全国の分離数はAH1型が322件、AH3型が1,911件、B型が1,605件でした。

インフルエンザ様患者の月別検体数と陽性数 (2007.4.24現在)

	検体数	陽性数	陰性数	インフルエンザウイルス型			インフルエンザ以外のウイルス型	(集団かぜを含む) 昨年同期		
				AH1	AH3	B		検体数	陽性数	ウイルス型
11月	5	2	3				パラインフルエンザ2型、 コクサッキーB5型			
12月	12	1	11				RS	24	13	AH1・AH3 7デ/3型
1月	43	35	8		10	25		167	156	AH1・AH3 パラインフルエンザ1型
2月	79	56	23		44	11	アデノ4型	72	60	AH1・AH3 パラインフルエンザ1型、アデノ3 型、アデノ4型、RS、ムンプス
3月	28	23	4		11	12		5	2	AH1
4月	4	3		1	1	1		5	2	AH1

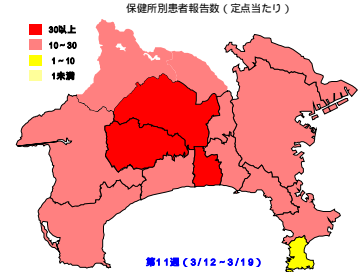
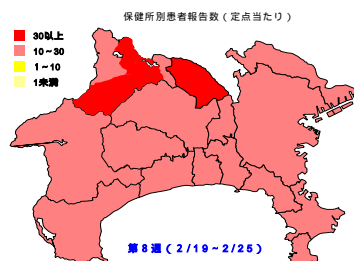
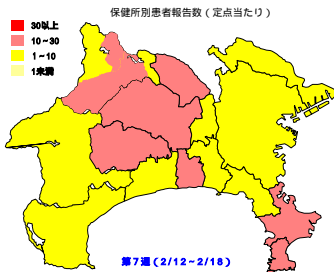
## 保健所別発生推移グラフ

### ピークまで(第7週～11週)

■ 警報レベル ■ 注意報レベルを  
表します

相模原市保健所管内が最初に警報レベル

警報レベル地域が厚木、秦野、  
茅ヶ崎に拡大

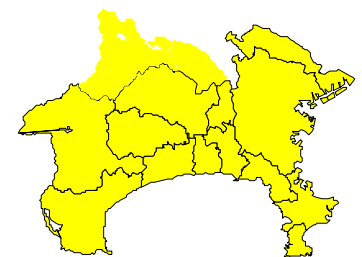
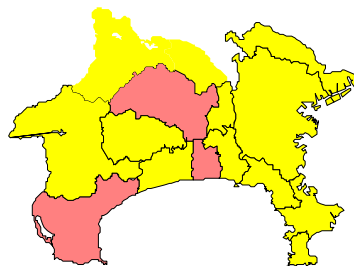
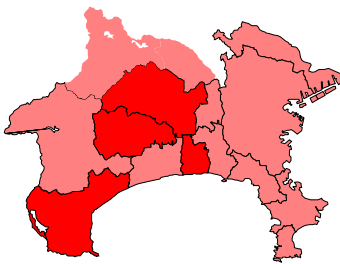


### ピーク後(第12週～17週)

小田原が警報レベルへ

急激に注意報レベルを下回るところが増加  
春休み明け

全県で注意報レベルを下回る



(企画情報部 佐藤善博)

# 病原体検出

**表1 病原体検出状況(保健所等別) 平成19年1月**

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査													病原体定点 1			合計				
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科		インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)																				
	その他の大腸菌 2											1			1						1
	サルモネラ 09群											1			1						1
	プレジオモナス・シゲロイデス											1			1						1
	カンピロバクター・ジェジュニ												1		1						1
	黄色ブドウ球菌											4			4						4
	ウエルシュ菌											1			1						1
	マイコプラズマ・ニューモニエ																				
計											8	1		9							9
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3													4	4	4	2				10
	インフルエンザ B	4				4		5	5				4		22	1	2				25
	エンテロ 71															1					1
	アデノ 3															1					1
	アデノ(型未決定)															1					1
	単純ヘルペス 1															3					3
	ロタ															1					1
	ノロ		10				1	1				7	28		22	69	16			1	86
	サボ															2					2
	計	4	10			4	1	6	5			7	28	4	26	95	30	4		1	130
合計	4	10			4	1	6	5			7	36	5	26	104	30	4		1	139	

1: 病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。

**<検出状況>**

- ・ 1月の病原体検出数は合計 139 件、細菌 9 件、ウイルス 130 件であった。
- ・ 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が 9 件、ウイルスが 95 件検出された。
- ・ 病原体定点等の医療機関からの検査では、ウイルスが 35 件検出された。
- ・ 保健所管内別の検出状況は表 1 のとおりである。

表2 病原細菌検出状況（臨床診断名別） - 平成19年1月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	（ 依 保 菌 頼 者 検 査 検 ） 1 査	合 計	
	コ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎					
		2			1		73					54	8	2,750	2,888
腸管出血性大腸菌(EHEC)															
その他の大腸菌 2													1		1
サルモネラ 09群														1	1
ブレジオモナス・シゲロイデス							1								1
カンピロバクター・ジェジュニ												1			1
黄色ブドウ球菌							3						1		4
ウエルシュ菌							1								1
A群溶血レンサ球菌															
マイコプラズマ・ニューモニエ															
計							5					1	2	1	9

1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。

海外渡航者数は(内数)として記載

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- 横須賀市で感染性胃腸炎の集団発生が4事例あり、うちノロウイルスを原因とする1事例から同時に黄色ブドウ球菌が3件検出された(ノロウイルスと複数検出)。また、感染性胃腸炎の集団発生の別事例からウエルシュ菌が検出された(ノロウイルスは検出されず)。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年1月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	平成19年計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	1		3	4	6	1	3	6	7	1	16	1	49		
毒素原性大腸菌(ETEC)								5	2	2			9		
その他の大腸菌	4	3	1	3		2		1	1	1	1	11	28	1	1
バラチフス A菌															
サルモネラ O4群							1				1		2		
サルモネラ O7群		4				1	1						6		
サルモネラ O8群			1			1							2		
サルモネラ O9群			1							4			5	1	1
腸炎ビブリオ								3					3		
エロモナス・キャピエ															
ブレジオモナス・シゲロイデス														1	1
カンピロバクター・ジェジュニ			7	3	1	8	2	8	1	6	2		38	1	1
カンピロバクター・コリ						1							1		
黄色ブドウ球菌					1			4				7	12	4	4
ウエルシュ菌				80							2	11	93	1	1
セレウス菌												1	1		
赤痢菌 D群(sonnei)								1	1	1		2	5		
A群溶血レンサ球菌	4	4	5	3	6	14	2					1	39		
コリネバクテリウム・ウルセランス							1						1		
淋菌							3	2	1				6		
レジオネラ・ニューモフィラ										1			1		
マイコプラズマ・ニューモニエ		1				2	2	9	7	3	2	1	27		
合計	9	12	18	93	14	30	15	39	20	19	24	35	328	9	9

: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

< 検出状況 >

- ・ 腸管出血性大腸菌は、毎月継続的に検出されていたが、1月は検出されなかった。
- ・ カンピロバクター・ジェジュニは、12月には10か月振りに検出されなかったが1月になり検出された。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年1月

	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	を麻しん除(成人麻しん)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻しん	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数						2	81	1		1			43		1		8	74	211
インフルエンザ AH3													10						10
インフルエンザ B													25						25
エンテロ 71								1											1
アデノ 3						1													1
アデノ(型未決定)							1												1
単純ヘルペス 1						1				1							1		3
ロタ							1												1
ノロ							45											41	86
サポ							2												2
計						2	49	1		1			35				1	41	130

< 検出状況 >

- ・ 12月に引き続き、1月もノロウイルス感染による集団発生が多発し、ノロウイルスは、感染性胃腸炎から45件、食中毒等から41件検出された。
- ・ 1月に入りインフルエンザが流行し始めた。集団かぜが6集団あり、うちインフルエンザウイルスAH3型によるものが1集団、インフルエンザウイルスB型によるものが5集団であった。検出数はインフルエンザウイルスAH3型が10株、インフルエンザウイルスB型が25株であった。今シーズンはAH3型とB型の同時流行であると考えられる。
- ・ 単純ヘルペスウイルス1型が咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、その他口内炎から1件ずつ検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年1月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	平成19年1月	平成19年計
インフルエンザ AH1	19	20	6										45		
インフルエンザ AH3	136	36	1										173	10	10
インフルエンザ B					2	1							3	25	25
パラインフルエンザ 1	1	1											2		
パラインフルエンザ 2											1		1		
R S		1										1	2		
コクサッキー A4					4	15	5	1					25		
コクサッキー A5							1			2	1		4		
コクサッキー A10							1	1					2		
コクサッキー A16					1	3	7	8	6	5	2	1	33		
コクサッキー B3									1				1		
コクサッキー B5							1	1		2	1		5		
エコー 18						1		3	4				8		
エコー 30							1						1		
エンテロ 71							1		1		1	1	4	1	1
ムンプス		1		2	1				3				7		
アデノ 1			1										1		
アデノ 2		1											1		
アデノ 3		3	2	4	3	1	4		1				18	1	1
アデノ 4		1					1						2		
アデノ 37	1												1		
アデノ 40/41						2							2		
アデノ(型未決定)				1							1		2	1	1
単純ヘルペス 1	1			1	1			1		1	2	1	8	3	3
ロ タ	1		22	9								1	33	1	1
小型球形						1							1		
ノロ	80	13	13	36	4					10	248	333	737	86	86
サポ					1							4	5	2	2
デング									1				1		
未同定							1	1	1				3		
オエンチア ツツガムシ										1	2	1	4		
合計	239	77	45	53	17	24	23	16	18	21	259	308	1,135	130	130

< 検出状況 >

- ・ エンテロウイルス 71 型が、12 月に引き続き 1 月も手足口病患者から検出された。
- ・ ノロウイルスは、1 月にはいり前月の検出数を下回ったが、サポウイルスが 2 件検出された。
- ・ 1 月にはいりインフルエンザの流行が始まった。
- ・ 単純ヘルペス 1 型が、昨年後期から継続して検出され続けている。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成19年1月

(神奈川県衛生研究所検出)

	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	1月			累計			1月				累計			
	食中毒等 収去検査	その他		食中毒等 収去検査	その他		海水	浴槽水等	食中毒等	その他	海水	浴槽水等	食中毒等	その他
検 査 検 体 数	19	61	7	19	61	7		10	45			10	45	
サルモネラ 04群		1			1									
サルモネラ 07群		4			4									
計		5			5									

: 河川水を含む。